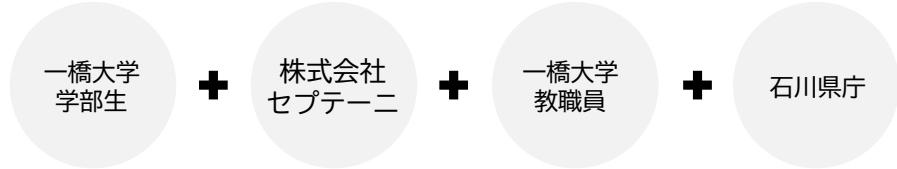


プロジェクト概要



大学生の目線から石川県が抱える課題を考え、「デザイン思考」を用いた課題解決を目指すプロジェクト

問題意識

フルタイム従事率の男女平等性

共働き家庭の家事・育児などに使用する時間の男女格差



→ 石川県において、家事・育児などに使用する時間の男女格差を小さくしていくにはどうすればよいか？

活動内容

1. インタビュー①：男女間・地域間の違い

対象：東京都と石川県それぞれに住む子育て中の男女7名



質問例

- 自分の家事や育児への参加度合いに対する満足度
- パートナーと家事や育児の分担を開始した当初の自信

2. 課題を深ぼるワークショップ@石川県庁

目的：インタビュー①の結果を踏まえ、今後焦点を当てるべき課題の抽出

女性はあまり男性に期待していない 夫婦で家事や育児の話はしにくい

→ 男性と女性の家事・育児などに使用する時間や行動量の差よりも夫婦間のコミュニケーションや満足度に課題があるのではないか

3. インタビュー②：コミュニケーションや満足度に関する仮説の検証

対象：育児経験のある共働き夫婦6組（うち北陸地方に居住する夫婦5組）

質問例

- 現在(特になければ過去)の家事や育児に関する不満
- パートナーに家事を教えた経験や、逆に教えてもらった経験
- 夫婦間で会話をするタイミングやきっかけ、会話の内容
- 両親の育児や家事の分担と自分たちのその違い



↓

理想像：完璧ではないが「まあ満足だね」と言える家庭

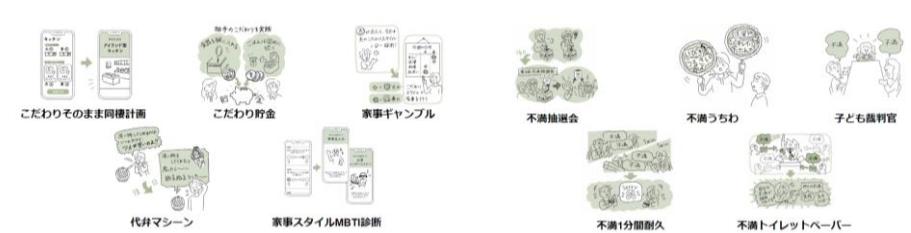
キーワード①：家事へのこだわり **キーワード②：夫婦間の会話**

パートナーのこだわりを知っているか？
互いのこだわりを尊重し合っているか？

夫婦間で十分に会話をしているか？
不満を言い合うことができるか？

4. 学生とのワークショップ：理想的な家庭を増やすアイデアの発散

参加者：一橋大学データ・デザイン・プログラムに所属する学生10名程度

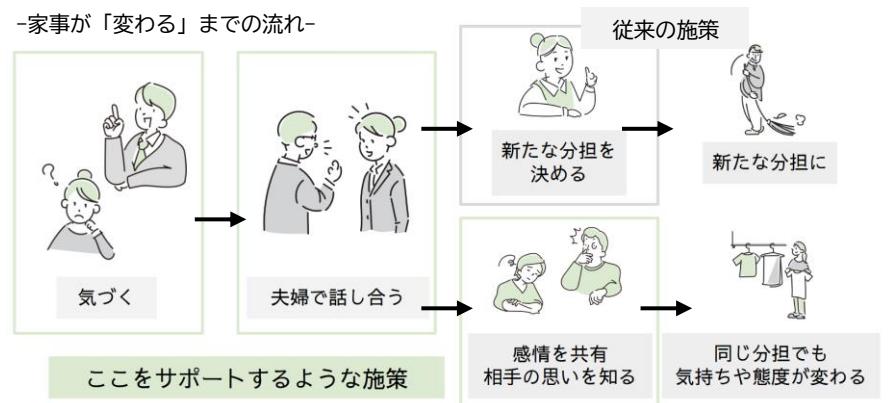


5. 社会人とのワークショップ：学生発案のアイデアに関する意見交換

参加者：パートナーを持ち、家事や育児の経験がある社会人の男女6名

6. 石川県庁職員の方&元石川県副知事に向けたアイデアの立案

着眼点：新たな分担に限らない課題解決



提案内容

1. 子ども暮らし調査隊！



小学校中学年の宿題として、「親に対する暮らしに関するインタビュー」を導入

質問例

- お父さんやお母さんの1日の過ごし方は
- 衣服や食事、家などを購入、使用できる理由
- お父さんやお母さんの一番大変な家事

夫婦で家事や育児について「ポジティブに」話す機会を「強制的に」作ることができる

2. 家事性格タイプ診断MBTI



自分の性格と家事の相性を教えてくれる診断サービス

診断例

- 動物に見立てた自分の家事タイプ
- 自分に適性のある家事や苦手な家事
- 自分の性格を踏まえた家事に関するアドバイス
- パートナーに向けた自分の扱い方

夫婦に合ったコミュニケーションの取り方や家事や育児の分担を実践することができる

3. 不満を水に流すトイレトペーパー



皆が日々感じる不満を水に流すことができるトイレトペーパー

印刷例

- 不満を文章または川柳にしたもの
- マスコットが不満をかわいく呟いているもの
- 家事や育児に関するアドバイス

他人の抱く不満を通して、「話さずとも」コミュニケーションを生むことができる

→ これら3つのアイデアを実施することで、家事や育児に関する夫婦間の「コミュニケーション」や「満足度」の課題を解決できると考える